

第53回 新潟市緑化審議会

新潟市の緑化推進について

○新潟市のみどりの基本計画の一部追加
・緑化重点地区の指定

○緑化助成制度の創設

令和3年12月24日(金) 10時00分～
(新潟市役所本館 第3委員会室)

目 次

1. 新潟市みどりの基本計画の概要	3
2. 緑化推進のための取組み	6
3. 新潟市のみどりの課題	9
4. 課題解決に向けた取組み方針	11
5. 緑化重点地区の指定	12
6. 緑化助成制度の創設	17
7. 目指すべきみどりの将来像	26
8. 今後のスケジュール	27

1. 新潟市みどりの基本計画の概要

新潟市みどりの基本計画とは

みどりの基本計画とは、都市緑地法第4条に規定する計画で、緑豊かで快適な都市を形成していくことを目指し、緑地の保全から公園の整備、民有地の緑化の推進までの全般について、みどりの将来あるべき姿とそれを実現するための方策を示す計画です。

平成21年
(2009年)

新潟市のみどりの基本計画策定



各種みどり施策の実施
・第1次実施計画（2009年～2014年）

平成26年
(2014年)

みどりの数値目標

	目標値	平成26年度末	令和2年度末
市民一人当たりの公園面積	12.80㎡/人	11.90㎡/人	12.49㎡/人
緑化活動団体数	320団体	390団体	348団体



各種みどり施策の実施
・第2次実施計画（2015年～2022年）
・第3次実施計画（2023年～2030年）

基本計画策定
から概ね20年後
令和12年(2030年)

みどりの将来像

1. 新潟市みどりの基本計画の概要

基本理念

次世代に誇りを持って引き継ぐ豊かな水と緑 ～新潟らしい風格ある都市を目指して～

新潟市のみどりの形成過程

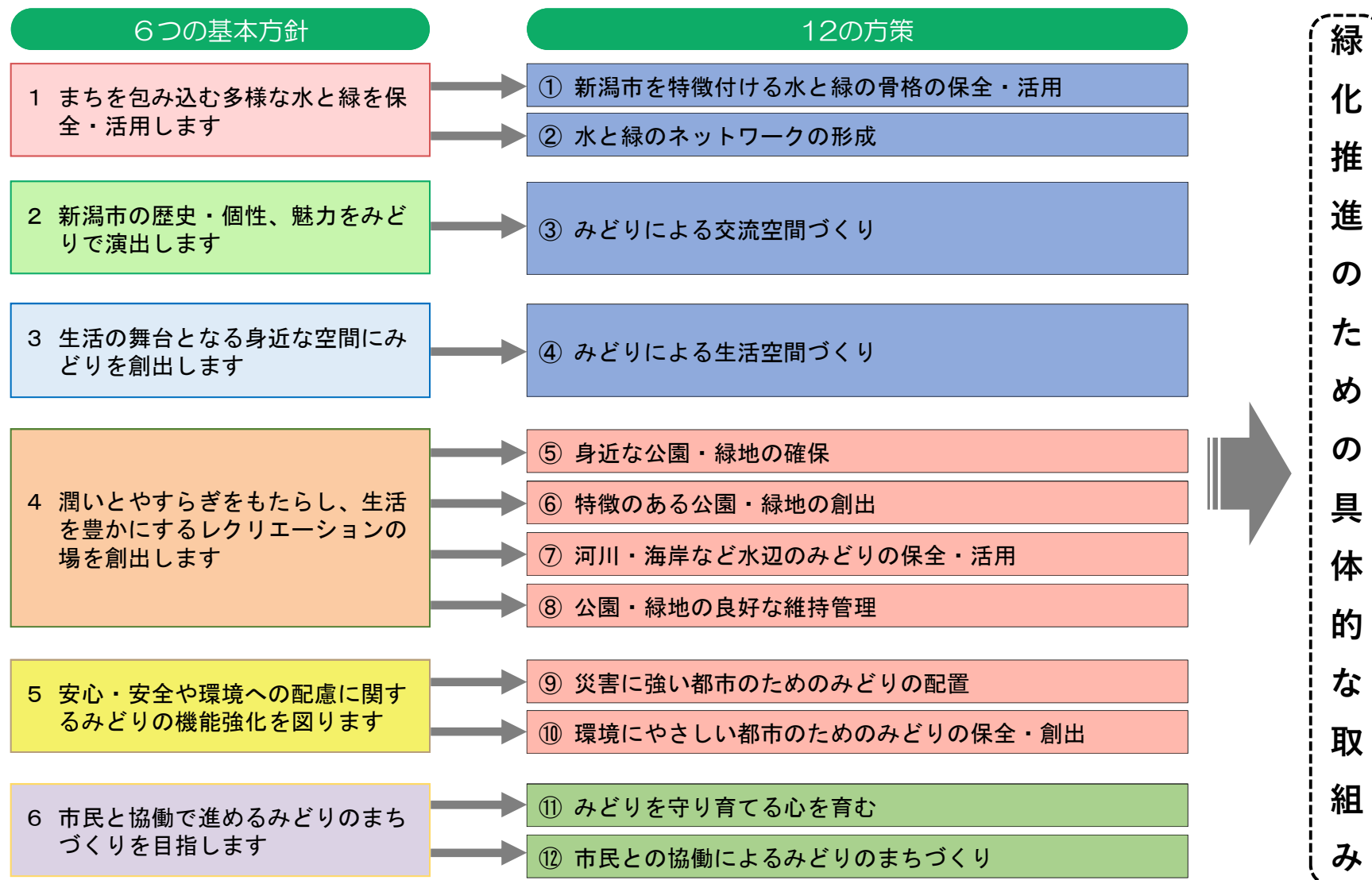
新潟市は水田、海浜、河川、湖沼、海岸林、里山など多様な自然環境に恵まれています。本市の歴史は、信濃川と阿賀野川の大氾濫により湿田が形成され、いたるところに潟ができ、漁や稲作が行われてきました。その後大規模な排水施設の建設や土地改良により広大な面積が乾田化され現在の水田に生まれ変わり、今では美しい田園が広がる越後平野を形成しています。また、海岸沿いの保安林については江戸時代末期より飛砂と強風からまちを守るため黒松を砂丘に植林し、林を作ってきました。一方、平野に接して森林を有する角田山、多宝山、にいつ丘陵などの自然的な緑も有しています。いずれの緑も人との関わりのなかで形成されてきたものです。今後はこれらの個性的な水と緑の資源を市民と共にさらに保全・活用しながら、新潟らしい風格ある都市を目指します。

目指すべきみどりの将来像

- 「新潟市の歴史・個性」と「政令市としての風格」が感じられる都市
- 「まちや集落」など、身近に「みどり」があふれる都市
- 「みどり資源」が「都市の骨格」として保全・活用されている都市
- 「みどりの維持・育成」に住民も参画している都市

1. 新潟市みどりの基本計画の概要

6つの基本方針と12の方策



2. 緑化推進のための取組み-公共空間でのみどりの創出

緑化推進のための具体的な取組み

特にみどりが不足している都心部のみどりの
保全・創出、緑化の推進を重点的に取り組む

1. 公共空間でのみどりの創出

①公共施設緑化の推進

- (公共施設緑化ガイドラインの策定)
・今後計画される公共施設の設計に際して、「公共施設緑化ガイドライン」を策定し緑化の推進を図ります。

②公園の整備

- ・新・新潟市総合計画や区ビジョンまちづくり計画により計画されている公園・緑地の整備を推進します。

2. 民間の緑地の保全・緑化の推進

■緑地を保全するための取組み

- ①民間緑地の保全に関する制度の活用
・市民緑地制度など、各制度を検討し、民間緑地の保全に取り組めます。
②保存樹等の指定の推進
・優れた樹木・樹林を保全するため、その保全活動に助成を行います。

■緑化を推進するための取組み

- ③市街地整備によるみどりの質と量を向上させるための検討・推進
・良好な市街地形成を図るため、市街地整備において、みどりの質と量を創出する方法について検討し推進します。
・市街地のみどりの質・量を確保するため、屋上や壁面を緑化する制度の検討を行います。
④まちなかにおける公園やオープンスペースでのみどりの創出
・民間施設などの改変にあわせてオープンスペース等の確保に努め、みどりを創出します。
⑤生垣設置奨励助成制度や緑地協定制度の活用促進、地区計画制度の推進
・既存の制度をより一層活用してもらえるよう、周知やPRに努めます。

3. みどりの維持管理を図る(協働)

①緑化活動団体への支援

- ・自主的な緑化・維持管理活動の拡大を目指します。

②公園アダプト制度の推進

- ・実施団体等のヒアリングを通じ、アダプト制度の拡充を目指します。

③公園愛護会の充実

- ・公園愛護会相互の連携を図りながら、協働で行う維持管理意識の醸成や体制の強化・推進に努めます。

【令和2年度末時点の公園面積】

種別	管理者	公園数	面積	市民1人当たり	備考
都市公園	県	4箇所	1,246,200㎡	1.59㎡	鳥屋野潟公園など
	市	1,429箇所	7,122,452㎡	9.11㎡	
小計		1,433箇所	8,368,652㎡	10.70㎡	
都市公園以外	市	221箇所	1,403,715㎡	1.79㎡	条例設置、借地公園など
計		1,654箇所	9,772,367㎡	12.49㎡	目標値：12.8㎡/人
市管理公園	計	1,650箇所	8,526,167㎡	10.90㎡	

新潟市都市公園条例における
市民一人当たりの都市公園面積標準
10㎡/人は上回っている

2. 緑化推進のための取組み-公共空間でのみどりの創出(公園の整備)

きらら西公園

- 【概要】 ● 場所：西区赤塚地内
● 供用開始：平成29年度～
● 公園面積：約23.0ha
(令和2年度末時点で約10.8ha供用予定)

- 【整備方針】 西区の赤塚埋め立て処分場跡地を活用し、「花と森にふれあえるホスピタリティあふれる総合公園」をコンセプトに、市民に憩いの場を提供する公園



■ H29年度～供用開始 (一部供用見込A=10.8ha)



寺山公園

- 【概要】 ● 場所：東区寺山地内
● 供用開始：平成30年度～
● 公園面積：約4.6ha

- 【整備方針】 東区の寺山地区において、「緑に囲まれた健康・交流・子育ての場」をコンセプトに、市民の憩いの場となり、また隣接する総合スポーツ施設と連携し、多様な世代の健康レクリエーションの場となる公園



2. 緑化推進のための取組み-

民間の緑地の保全・緑化の推進 みどりの維持管理を図る(協働)

民間の緑地の保全・緑化の推進

【保存樹等の指定の推進】



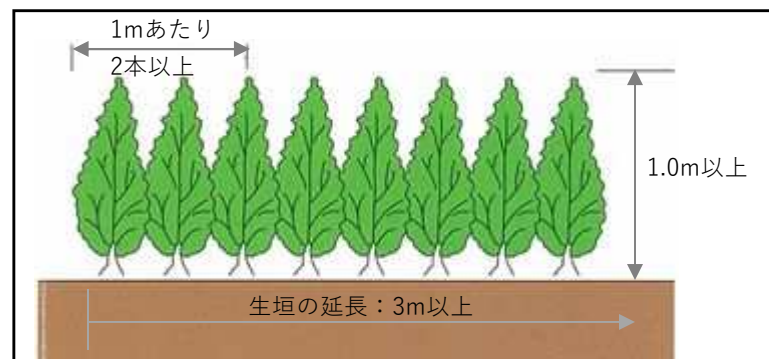
中央区-ケヤキ



東区-クロマツ

- 指定状況：保存樹256本、保存樹林15件、保存生垣5件

【生垣設置奨励助成制度の活用推進】



- 助成内容：緑地協定地区内の土地所有者に、生垣等の新規設置に要する工事費の2分1を補助する

みどりの維持管理を図る(協働)

【緑化活動団体への支援】



- 支援内容：緑化活動を行う自治会などに花苗などの購入費を補助する

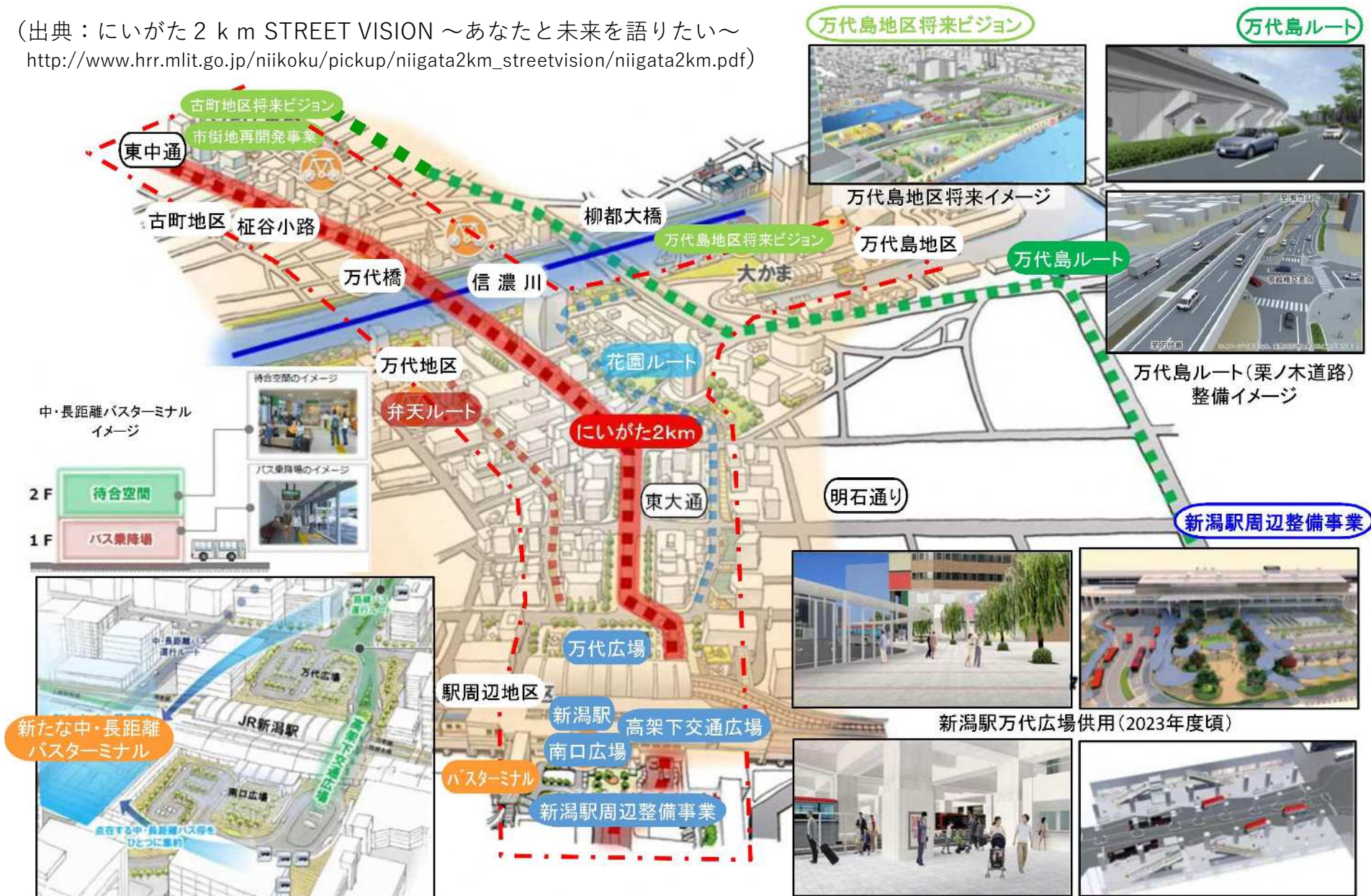
【公園アダプト制度の推進】



- 活動団体数：地元企業、町内会・自治会や学校などの26団体

3. 新潟市のみどりの課題-にいがた2km(都心軸)を取り巻く情勢

(出典：にいがた2km STREET VISION ～あなたと未来を語りたい～
http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/pickup/niigata2km_streetvision/niigata2km.pdf)

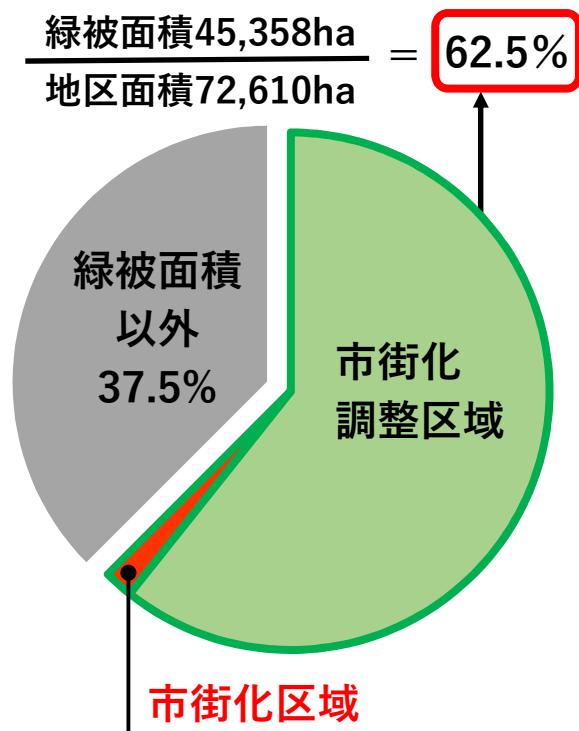


新潟駅・バスターミナル周辺のイメージ

新潟駅直下バスターミナル(高架下交通広場)供用(2022年度頃) 9

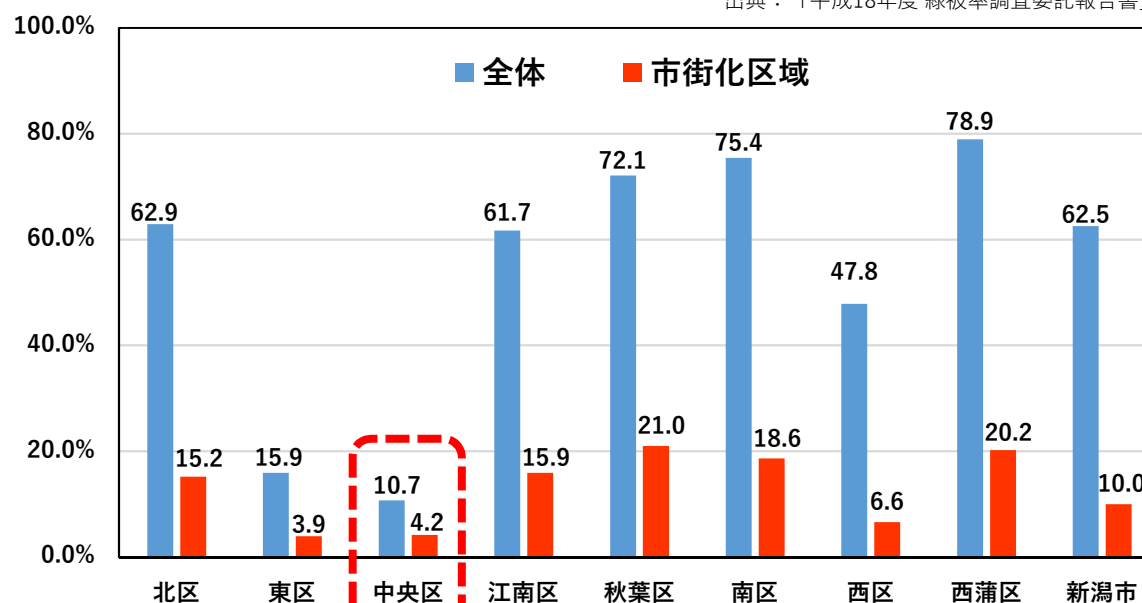
3. 新潟市のみどりの課題-にいがた2km(都心軸)のみどりの状況

本市全体の緑被率



各区ごとの緑被率

出典：「平成18年度 緑被率調査委託報告書」



- 万代・駅前地区 : 1.7%
- 古町・白山浦地区 : 2.6%

まちなかのみどりが少なく、
潤いがあるまちなみとは言えない

新潟駅万代広場整備や都心軸での再開発事業など、都心部が新しく生まれ変わっていく中、都心部の景観や魅力をより向上させるためには、みどりの果たす役割は重要である

4. 課題解決に向けた取り組み方針

緑化推進のための具体的な取り組み

特にみどりが不足している都心部のみどりの保全・創出、緑化の推進を重点的に取り組む

1. 公共空間でのみどりの創出

- ①公共施設緑化の推進
(公共施設緑化ガイドラインの策定)
・今後計画される公共施設の設計に際して、「公共施設緑化ガイドライン」を策定し緑化の推進を図ります。
- ②公園の整備
・新・新潟市総合計画や区ビジョンまちづくり計画により計画されている公園・緑地の整備を推進します。

新潟都心のまちづくり「にいがた2km」
○緑と賑わいがあふれるウォーカブルな都市
・既存公園のリニューアル
・道路空間の再整備

2. 民間の緑地の保全・緑化の推進

■緑地を保全するための取り組み

- ①民間緑地の保全に関する制度の活用
・市民緑地制度など、各制度を検討し、民間緑地の保全に取り組みます。
- ②保存樹等の指定の推進
・優れた樹木・樹林を保全するため、その保全活動に助成を行います。

■緑化を推進するための取り組み

- ③市街地整備によるみどりの質と量を向上させるための検討・推進
・良好な市街地形成を図るため、市街地整備において、みどりの質と量を創出する方法について検討し推進します。
- ・市街地のみどりの質・量を確保するため、屋上や壁面を緑化する制度の検討を行います。
- ④まちなかにおける公園やオープンスペースでのみどりの創出
・民間施設などの改変にあわせてオープンスペース等の確保に努め、みどりを創出します。
- ⑤生垣設置奨励助成制度や緑地協定制度の活用促進、地区計画制度の推進
・既存の制度をより一層活用してもらえるよう、周知やPRに努めます。

3. みどりの維持管理を図る(協働)

- ①緑化活動団体への支援
・自主的な緑化・維持管理活動の拡大を目指します。
- ②公園アダプト制度の推進
・実施団体等のヒアリングを通じ、アダプト制度の拡充を目指します。
- ③公園愛護会の充実
・公園愛護会相互の連携を図りながら、協働で行う維持管理意識の醸成や体制の強化・推進に努めます。

都心部では既に土地利用がなされており、新たな緑化を創出することが困難なため、**民有地の改変時に緑化を促す取り組みが必要**

「行政が造る」から「**官民で創る**」への転換 ⇒ 官民連携してまちなかの緑化を推進

既存制度・取り組み
・開発を促進するための支援措置：①市街地再開発事業、②優良建築物等整備事業
・R3年9月1日に本市都心部を都市再生緊急整備地域に指定

- ◎にいがた2kmを含む「都市再生緊急整備地域」に指定された区域を**重点的に緑化を推進するため、「緑化重点地区」に指定**
- ◎市街地再開発事業や優良建築物等整備事業の対象とならない小規模な建て替え等において、**緑の創出を支援する市独自の補助制度を創設**

5. 緑化重点地区の指定

緑化重点地区とは

都市緑地法第4条において、「重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区及び当該地区における緑化の推進に関する事項」を緑の基本計画に定めることとされており、行政による重点的な緑化政策に加え、市民及び事業者等がそれぞれの立場で自主的な緑化を進めることが期待される。

緑化重点地区にふさわしい地区

- ①駅前や多くの公共施設が立地している地区等、都市のシンボルとなる地区
- ②特に緑が少ない地区
- ③緑による質の高い環境整備に対する市民の意識が高い地区
- ④具体的な面的開発事業等が計画されている地区で、緑による環境整備を重点的に行う必要のある地区
- ⑤避難場所の面積が十分でない等防災上課題があり、緑地の確保及び市街地の緑化を行う必要が特に高い地区
- ⑥緑化協定の締結の促進等により良好な住宅地の形成を促進する地区
- ⑦風致地区など都市の風致の維持が特に重要な地区
- ⑧教育施設等の公共施設と民有地の一体的な緑化及び景観形成により良好な環境の保全及び創出を図る地区
- ⑨都市公園を核として、市民の憩いの場の創出を図る地区
- ⑩ヒートアイランド現象の緩和など、都市環境の改善が必要な地区

5. 緑化重点地区の指定

① 駅前や多くの公共施設が立地している地区等、都市のシンボルとなる地区

- 本州日本海側の最大都市という立地を活かし、拠点にふさわしい都市機能の強化として、新潟駅周辺市街地の総合的な整備を進めている



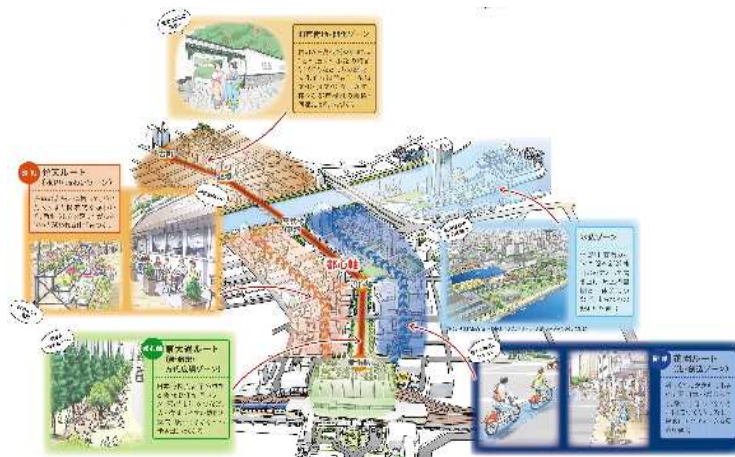
新潟駅万代口駅舎全景(2021年10月1日時点)



広場全体整備イメージ(鳥瞰図)

万代広場中央付近から駅舎方向望む

- 「新潟都心の都市デザイン」を策定し、古町地区から本市のシンボルである萬代橋を通過して新潟駅へつながるにいがた2 km（都心軸）を中心としたまちづくりを推進している



新潟都心の都市デザインイメージ

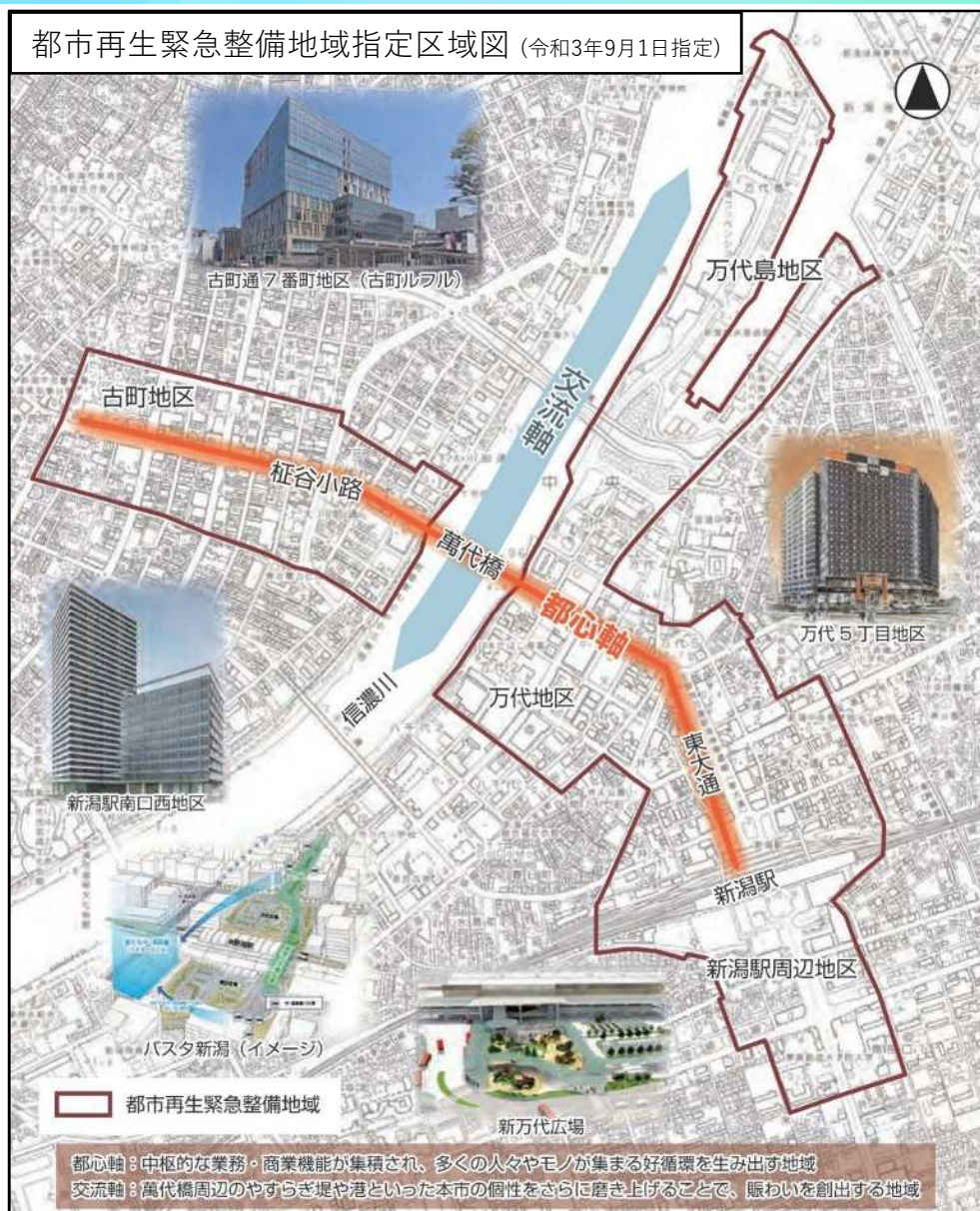
<新潟都心の都市デザインにおける各ルート・ゾーン>

- ① 【都心軸】 東大通ルート(新潟駅・万代広場ゾーン)
新潟を訪れる人々が都心軸を望むとき、
日本海側拠点都市の 風格が感じられる
- ② 【副 軸】 弁天ルート (水辺・賑わいゾーン)
- ③ 【副 軸】 花園ルート (港・創造ゾーン)
- ④ 旧市街・開化ゾーン
- ⑤ 水辺ゾーン

本市の玄関口である新潟駅や本市のシンボルである萬代橋といった都心軸周辺を重点的に緑化することで緑と花の豊かな本市のイメージを発信するとともに、風格ある都市空間を形成していく

5. 緑化重点地区の指定

④ 具体的な面的開発事業等が計画されている地区で、
緑による環境整備を重点的に行う必要のある地区



【概要】

都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として、国が都市再生特別措置法に基づき政令で定める地域

【都市再生緊急整備地域内の特例】

地域整備方針等に合致する事業計画について
「都市再生特別地区」に定めることが可能
⇒容積率制限や斜線制限等の建築制限の緩和
※地域整備方針等に合致する取り組みの項目の
1つに「**ウォーカブルな空間や緑地の創出**」があり、**再開発による民有地内の緑化が期待できる**



都市再生緊急整備地域内における再開発による緑化事例
(出典：広島市みどりの基本計画 (2021-2030) -P53)

都市再生緊急整備地域に指定された区域を緑化重点地区に設定することで再開発時の緑化を促進させる

5. 緑化重点地区の指定

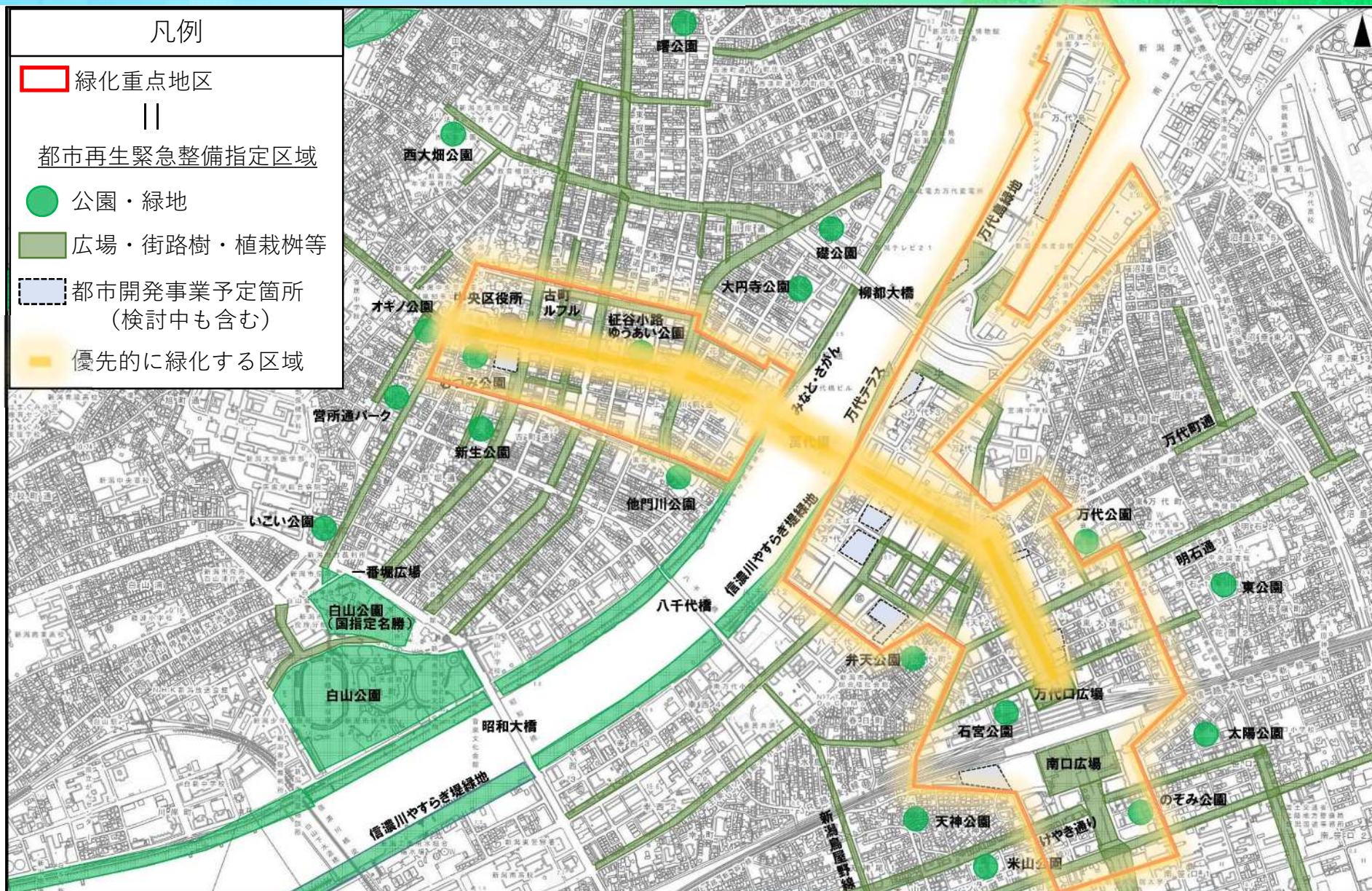
② 特に緑が少ない地区

- 都心軸の緑被率が特に少ない
- 新潟駅前から流作場交差点までは街路樹が整備されているものの、流作場交差点から古町地区においては、街路樹がほぼ整備されていない



都心軸を中心に緑化を進めることで、みどり豊かで人が歩きたくなる空間を創出していく

5. 緑化重点地区の指定-緑化重点地区における緑化の取組み方針



民間の再開発事業による緑化の創出

+

市の緑化助成制度による民有地緑化の促進

6. 緑化助成制度の創設

対象区域

●緑化重点地区

(都市再生緊急整備地域に指定された区域と同じ区域とする)

助成目的

- 民有地のオープンスペース等において、緑の創出を行う際の費用を助成することで、民有地の積極的な緑化を誘導していく

既存制度とのすみ分け

●市街地再開発事業

(施行地区の規模：5,000㎡以上)

●優良建築物等整備事業

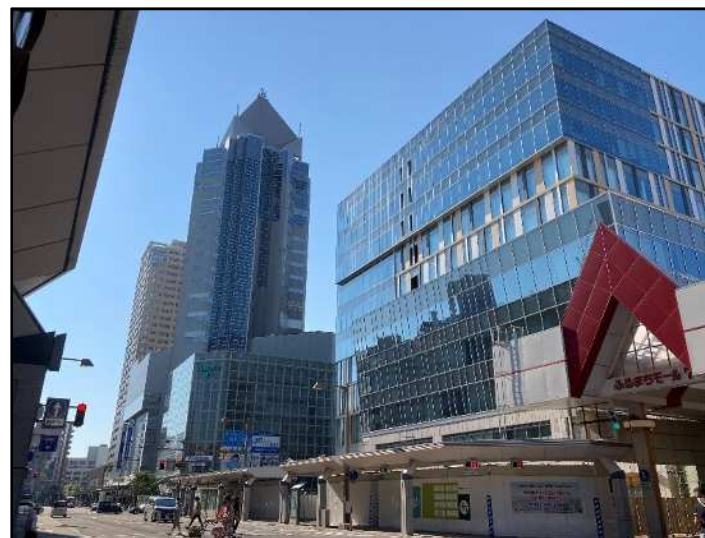
- (・新潟市まちなか再生建築物等整備事業)
- (・新潟都心地域優良建築物等整備事業)

(施行地区の規模：1,000㎡以上)



共用部分の緑化の補助有

小規模な建て替え等、既存制度の対象とならない建物の緑化を推進するための助成制度を創設



【市街地再開発事業実施例_古町ルフル】

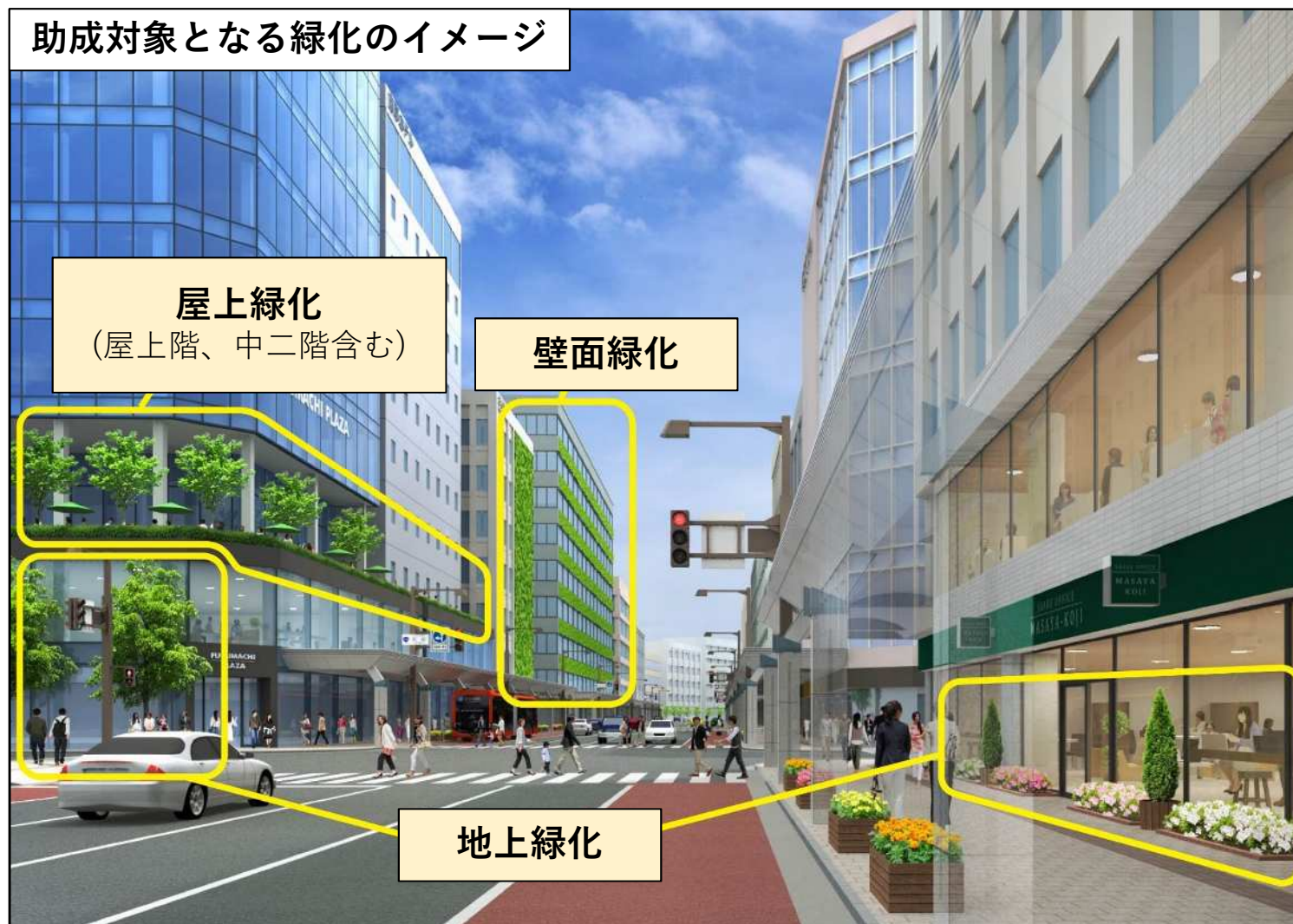


【優良建築物等整備事業実施例_グランドメゾン西堀通タワー】

6. 緑化助成制度の創設

助成対象

- 民有地内の敷地又は建築物における緑化に係る費用を助成する



6. 緑化助成制度の創設

助成対象

- 新築、既存建築ともに対象とし、新たなオープンスペースの整備は問わないものとする
- 申請前に既に植栽されている樹木の修繕等は助成の対象とならない



【新築の緑化イメージ】



【既存建築の緑化イメージ】

6. 緑化助成制度の創設

助成対象

- 助成率：助成対象経費の2分の1とする
- 上限額：地上緑化は100万円を上限とする
壁面緑化・屋上緑化は200万円を上限とする



政令市の事例より

助成対象経費

- 緑化に係る資材購入費及び施工費を助成対象経費とする

分類	内容
①植栽費	<ul style="list-style-type: none">・植栽資材（樹木、肥料、土壌改良材、支柱、プランター、マルチング材、防草シート、土留め材等）・本助成制度を利用したことを示す表示板
②植栽基盤整備費	<ul style="list-style-type: none">・植栽枡・壁面緑化の誘引資材 等
③灌水施設整備費	<ul style="list-style-type: none">・散水栓・給水管・スプリンクラー・灌水チューブ 等

6. 緑化助成制度の創設

助成条件【公開性】

- 一般の人が自由に立ち入ることができる建物や共有スペース、又は、道路から容易に見ることができる場所である。
- 地上緑化については、ブロック塀などの遮蔽物で隠れてしまう植栽は対象とならない

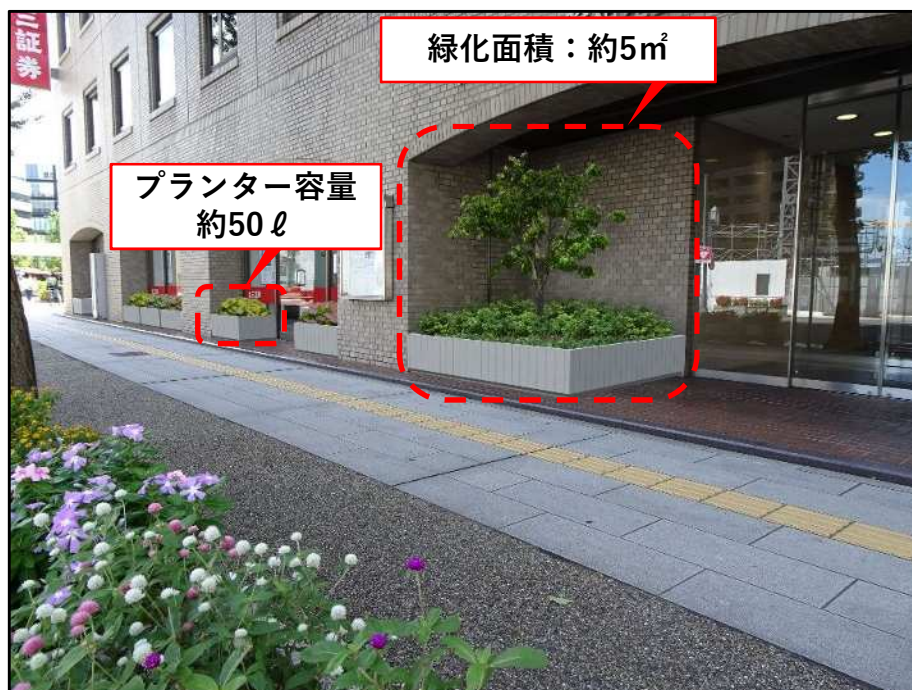


公開性のある場所で緑化を行うことで、多くの人々が緑に接する場が生まれ、市民の緑化意識の醸成・向上や市民の緑化活動のきっかけづくりにつながる

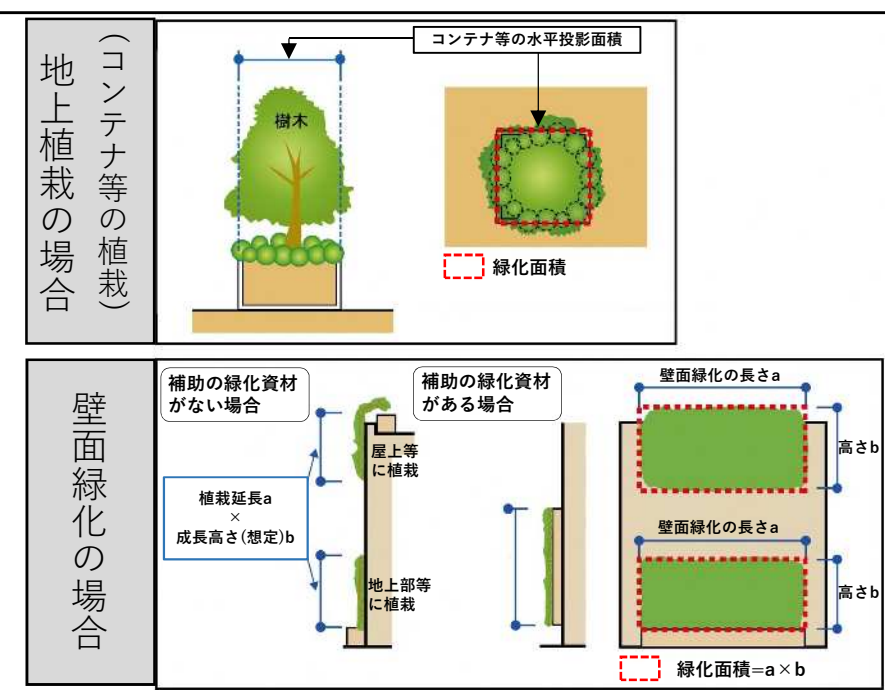
6. 緑化助成制度の創設

助成条件【最低緑化面積】

- 補助対象となる緑化を行い、最低5㎡以上を新たに緑化する
- プランターを使用する場合は、容量が1個あたり50ℓ以上かつ容易に移動できないものを対象とする
- 緑化面積の算定基準は新潟市公共施設緑化ガイドラインに準ずるものとする



【最低緑化面積参考イメージ】



【緑化面積算定方法イメージ】

6. 緑化助成制度の創設

助成条件【維持管理義務】

- 事業完了後5年間は適切な維持管理を実施するとともに、それ以降も適切な維持管理に努めることとし、維持管理義務を怠っていたことが明らかな場合、申請者に対して助成金の全額または一部返還を求めることができる
- 市から要請があった場合には、施工事例の提供や経過報告に協力する
- 本制度を利用したことを示す表示板を設置する



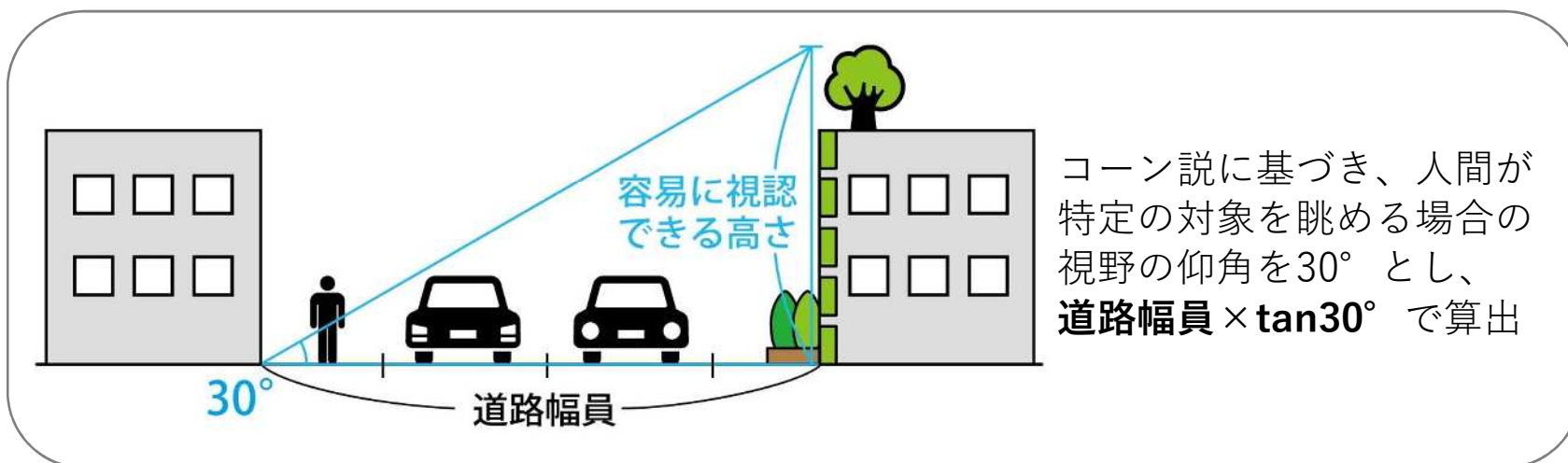
【表示板設置イメージ】

(出典：兵庫県「令和3年度県民まちなみ緑化事業の募集について」
https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks18/wd20_000000005.html)

6. 緑化助成制度の創設

効果的な緑化：【視認性】

- 壁面緑化・屋上緑化が公道から容易に視認できる高さについては、面する道路の幅員に応じて以下を参考値とする



【公道から容易に視認できる緑化の高さの参考値】

場所	道路幅員	高さ	高さのイメージ
東港線（メディアシップ周辺）	約21m	12m程度まで	4階屋上
榎谷小路	約27m	16m程度まで	5階屋上
東大通り	約50m	30m程度まで	10階屋上

6. 緑化助成制度の創設

効果的な緑化：【その他】

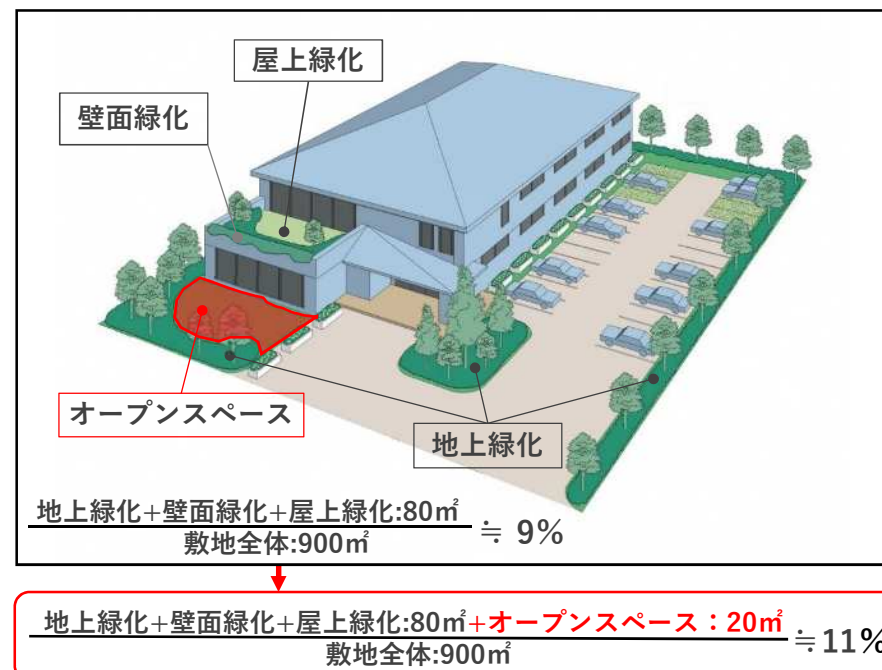
- 高木性樹木の植栽に努めることとし、植栽する樹種は敷地内で統一するよう努めること
- 四季の演出を考慮した植栽の樹種を選定するよう努めること
- 新規の建物における緑化率については、敷地全体の面積の10%以上を目標とし、緑化率を算出するための緑化面積は、原則、地上緑化、壁面緑化、屋上緑化した面積の合計とする（ただし、将来植栽することが可能となるオープンスペース部分についても緑化面積に加算できるものとする）

【高木性樹木植栽イメージ：けやき通り】



- ・ 樹形が逆円錐形のため緑陰効果が高く、また、自動車交通の妨げになりにくい

【緑化率算出イメージ】



◎本助成制度の助成条件や効果的な緑化等を記載したガイドラインを策定し、民有地緑化を促進

7. 目指すべきみどりの将来像

- 「新潟市の歴史・個性」と「政令市としての風格」が感じられる都市
- 「まちや集落」など、身近に「みどり」があふれる都市
- 「みどり資源」が「都市の骨格」として保全・活用されている都市
- 「みどりの維持・育成」に住民も参画している都市



8. 今後のスケジュール

実施時期	実施内容	詳細
令和3年12月24日	第53回緑化審議会開催	・みどりの基本計画の一部改訂について内容説明 (緑化重点地区、緑化助成制度)
令和4年 1月下旬 ～2月上旬予定	第54回緑化審議会開催	・みどりの基本計画の一部改訂の素案を説明 (委員からの意見集約)
令和4年 2月下旬予定	市議会2月定例会報告	・みどりの基本計画の一部改訂の素案を説明及びパブリックコメント実施の報告
令和4年 3月頃予定	パブリックコメント実施	・1カ月程度市民意見を徴収
令和4年 5月頃予定	第55回緑化審議会開催	・パブリックコメントを反映したみどりの基本計画の一部改訂の案を説明し、内容について諮る
令和4年 6月頃予定	緑化助成制度運用開始	